

2017 年金 3: 秋学期講義 現代哲学講義、認識論

講義題目：共有知とは何か？

開講時間：金曜 3 時間目

担当者：Yukio Irie

Class title : What is the common knowledge?

第 1 回講義 (20171006)

<シラバス>

講義内容

共有知は、コミュニケーションや集合的行為や社会制度の社会的構築の説明にとって重要な概念である。ここでは、共有知に関する基礎的なトピックを説明する。

目標

学生は、共有知概念の重要性を理解するとともに、共有知に関する理論的な諸問題を説明できようになる。

Weekly Schedule (Subject to minor changes):

- 1、導入
 - 問答と共有知
- 2 9 か月革命と共同注意
 - Michael Tomasello
- 3 ミラーニューロンと共有知
- 4 コミュニケーションと共有知
 - 1 : シフアー、理解の共有
 - ルイス、スコアの共有
- 5 Following Rules Problem
 - 1 : クリプキ
 - 2 : マクダウエル
- 6 実践的共有知
 - 1 : 集団行動
 - 2 : 社会制度の構成
- 7 物語的知と共有知
 - 1 : 物語の共有
 - 2 : 記憶の共有
- 8 個人知と共有知
 - 問いの共有、答えの共有、問答の共有

成績評価

Grading:

Mini reports every week (50%) and final report (50%)

The attendance over 80% is required to submit the final report.

2006 年前期「実践的知識・共有知・相互知識」

2008 年前期「アプリアリな知識と共有知」

拙論「相互知識はいかにして可能か」『アルケー』関西哲学会発行、2004 年 7 月、pp.54-67.

拙論、「知を共有するとはどういうことか」『メタフュシカ』大阪大学哲学講座発行、37 号、pp.1-15、2007 年 3 月

§ 1 共有知とは何か？

1 共有知の事例

事例 1：

p を「ここは教室です」とし、KiP は「I know P」とし、KyP は「You know P」とするとき、

KiP

KyP

KiKyP

KyKiP

KiKyKiP

KyKiKyp

・・・

(ad infinitum)

このような反復が成り立つとしたらその時に成立しているのが、共有知です。

事例 2：

教室に A さんが入ってきます。A さんは、「今日の授業が休講だとしています」
そこにいる人たちは、まだ知りません。しかし、A さんが「今日の授業は休講です」というとき、教室の全員にとって、それが共有知になります。

事例 3：

C さんは、A さんに Lba「B loves A」と伝えます。A さんも B さんが好きで、それを自覚しているとします。するとこれによって、Ka(Lab & Lba)が成立します。

C さんは、B さんに Lab「A loves B」と伝えます。B さんも A さんが好きで、それを自覚しているとします。これによって、Kb(Lab & Lba)が成立します。

しかし、このとき、

KaKb(Lab & Lba)

KbKa(Lab & Lba)

は成立していません。これらを成立させるために、C さんは、

A さんに、C は B さんに Lab を伝えたことを伝え、

B さんに、C は A さんに Lba を伝えたことを伝えます。

これで、上記は成立します。

しかし、このとき、

KaKbKa(Lab & Lba)

KbKaKb(Lab & Lba)

は成立していません。これらを成立させるために、C さんは、

A さんに、(C は B に (C が A に Lba を伝えたこと) を伝えたこと) を伝えます。

Bさんに、(CはAに(CがBにLbaを伝えたこと)を伝えたこと)を伝えます。
これで上記は成立します。

しかし、このとき、

$KaKbKaKb(Lab \ \& \ Lba)$

$KbKaKbKa(Lab \ \& \ Lba)$

は成立していません。

以下同様です(ad infinitum)。

Cがこの作業をどんなに繰り返しても、

AとBの間に、Lab&Lbaは、AとBの共有知にはなりません。つまり、Cのような代理人を介するコミュニケーションでは、共通知識は成立しても、共有知は成立しないのです。

これを実現するには、Cは、AとBの面前で、Lab & Lbaを伝える必要があります。

Cが、AとBだけでなく、大勢の面前で、それを伝える時、それはみんなの共有知になります。マスコミは、共通知識を作り出すだけでなく、ある条件下では、共有知を作り出します。それは巨大な集団的主体を立ち上げず。マスコミのこの機能が、ナショナリズムを成立させます。

2 共有知と類似の諸概念

共通知識との違い

$N = \{a_1, a_2, a_3, \dots\}$ のとき、

$KaP \ \& \ Ka_2 \ \& \ Ka_3 \ \dots$

が成り立つなら、Pを集団Nの共通知識と呼ぶ。

共通知識が成り立っていても、それが集団Nの共有知になっているとは限らない。

共通信念はあるが、共有信念は成立しない。

上記のPが知識ではなくて信念の内容であるとき、Pは集団Nの共通信念である。

集団的志向性 collective intentionality と共有知はどう関係するのか？

個人的志向性 individual intentionality について、サールは次のようなものを上げている。

認知 cognition に関する志向性：知覚、記憶、信念

意志 volition に関する志向性：事前意図、行為内意図、欲望

「集団的志向性は、共有知と共通志向性にできるか？」

3 共有知についての3つの理解 (Cf. Margaret Gilbert, *Society and Responsibility*)

(1) 個人主義のアプローチ

D.Lewis, Tuomela, は、個人の相互信念によって、共有知を説明しようとする。

(2) 内的全体論のアプローチ (サール)

サールは、We-intention を I-intention に還元できないと考えるので、内的全体論である。

サールは、「志向性は、個人の脳の中にだけ存在する」と考えるので、外的全体論ではない。

(3) 外的全体論のアプローチ (Margaret Gilbert)

Margaret Gilbert は、内的全体論でも外的全体論でもある。